

## ■ 経営管理態勢およびリスク管理態勢等の状況

### 経営管理態勢

当金庫は内部管理基本方針、経営理念、経営方針、基本目標を定め経営管理に対する姿勢の強化及び内部監査機能の充実を図るとともに理事会・監事会および内部における会議・委員会を定例化し、それぞれの機能の有効性確保に努め経営管理態勢の整備・確立を図っています。

### 法令遵守態勢

金融機関にとって法令遵守態勢の整備・確立は、金融機関の業務の健全性及び適切性を確保する為には最重要課題の一つと位置づけられています。当金庫では経営陣の役割と責任を果たすことを目的とし「内部管理基本方針」を定め、金庫業務の全般にわたり法令遵守態勢の整備・確立に努めています。

#### ●反社会的勢力に対する対応

当金庫は、社会の秩序や安全に脅威を与え、健全な経済・社会の発展を妨げる反社会的勢力との関係を遮断するため「信用金庫行動綱領」に基づく、反社会的勢力対応規程、反社会的勢力への対応マニュアルを定め取り組んでいます。

#### ●利益相反管理方針の概要

当金庫は、信用金庫法および金融商品取引法等を踏まえ、お客さまとの取引にあたり、本方針に基づき、お客さまの利益が不当に害されるおそれのある取引を適切に管理（以下「利益相反管理」といいます。）し、もってお客さまの利益を保護するとともに、お客さまからの信頼を向上させるため取り組んでいます。

### 顧客保護等管理態勢

金融機関にとって顧客保護等管理態勢の整備・確立は、顧客の視点に立った顧客の保護及び利便性の向上の観点から重要であり、当金庫では「顧客説明」「顧客サポート」「顧客情報管理」「外部委託管理」「その他顧客保護等」の態勢の改善に努め、金庫業務のもつ社会的責任及び公共的使命への信用・信頼の確立に取り組んでいます。

### リスク管理態勢

当金庫では各種業務執行に伴い発生する様々なリスクを正しく把握し、金融情勢の変化に対応できるよう内部管理基本方針を定めるとともに、リスク情報を捉え組織として検討する「各種リスク委員会」を設置し、経営の健全性維持と安全性の確保を行い自己資本充実のために、統合的なリスク管理に努めています。

#### 信用リスク

取引先の財務状況の悪化などにより当金庫が損失を被るリスクがあります。

当金庫では「クレジットポリシーによる厳正な審査」「ポートフォリオ管理による特定業種及び大口化等の偏った融資の回避」「不動産担保融資は定期的な評価の見直しによる適正担保評価の確保」に努め管理しています。

#### 市場リスク

金利、為替、株式等の価格が変動し保有する資産の価値が減少することにより損失を被るリスクがあります。

当金庫では主なリスクとして「金利リスク」「為替リスク」「価格変動リスク」を掲げ、適切な運営・管理を行っています。

#### 流動性リスク

予期せぬ資金の流出により必要な資金確保の困難及び通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされることにより損失を被る「資金繰りリスク」並びに市場混乱等による市場取引の不成立、通常よりも著しい不利な価格での取引を余儀なくされ損失を被る「市場流動性リスク」であります。

#### オペレーショナル・リスク

金融機関の業務の過程、役職員の活動若しくはシステムが不適切であること又は外生的な事象により損失を被るリスク及び金融機関の内部管理上「オペレーショナル・リスク」と定義したリスクであります。

主なリスクは「事務リスク」「システムリスク」「法務リスク」「人的リスク」「風評リスク」「有形資産リスク」などとし、経営の健全性、適切性の確保に努めています。